

### 【基本理念】

医療と福祉の連携をとり、介護員、相談員、ケアマネジャー、医師、看護師、栄養士、歯科衛生士それぞれの専門性、独自性、応用力を活かし、一貫したケアを行いご入居者が安全かつ安楽な生活を送ることが出来るように努める。

### 【目標】

- ① 異常の早期発見に努め、早期治療と看護による施設内での体調改善を図る
- ② 皮膚トラブルの予防に努める。発生時は適切な処置を実施し早期治癒を目指す
- ③ 感染症の予防と拡大防止
- ④ 看取り介護の質の向上
- ⑤ 経費削減に努める

### 【実践報告】

- ① 異常の早期発見に努め、早期治療と看護による施設内での体調改善を目指す
  - ・ロングご入居者は週 1 回のバイタルサイン測定（以下 VS 測定）と入浴時の検温を実施、SS ご利用者は毎日 VS 測定している。退院後や食事、排泄、精神状態に変調があるときは適宜 VS 測定を行い、異常の早期発見、対応に取り組んだ。
- ② 皮膚トラブルの予防と改善に努める
  - ・排便間隔、入浴回数等の関係から褥瘡の再発を繰り返すご利用者が増えている。清潔保持や予防処置の継続が重要という認識を常に持ちながら介護が行われるよう指導を行い、褥瘡予防と早期治癒に努めてゆきたい。
- ③ 感染症の予防と拡大防止
  - ・SS ご利用者が感染源と思われるインフルエンザ B 型の発症が 2 階フロア内で感染拡大した。結果 10 名に同型の感染を確認した。情報提供が遅かったこと、隔離対応が困難な現状もあり終息までに約 17 日間要した。また 1 名は心不全を併発し入院加療中である。前年度も感染経路は SS ご利用者からであった。次年度は感染拡大がないよう、担当ケアマネや介護者から適切な情報提供、連携が図れるよう事前の調整を行う必要があると考える。
- ④ 看取り介護の質の向上
  - ・27 年度は 8 名のご入居者がふるさとで最期を迎えられた。内 7 名は看取り介護希望者で、ご家族による看取りは 5 件であった。褥瘡発生もほとんどなく、穏やかに最期を迎えられるケースが多かった。介護員主体となって看取り介護が行われるよう指導、助言を行ってゆく。
- ⑤ 経費削減に努める
  - ・処置に使う物品の個人購入、医療や衛生材料の価格調査、入浴時に使う洗剤やスポンジの導入により大幅な経費削減を図る試みを行っている。